

横田高校魅力化プロジェクトに関わる活動を、地域の方、中学生、高校生、保護者の方に向けてお知らせしています。(毎月発行 3月号のみ全戸配布)

今年度も、地域の皆様には大変お世話になりました!



若手社会人による仕事講話キミチャレ (1年・3年)



商店街取材後に記念撮影 (1年)



奥出雲学で商店街取材 (1年)



国語表現で横田幼稚園へ (3年)



横田蔵市でのブルーベリージャム販売 (2年)



ハデ干し収穫 (2年)

「高校魅力化プロジェクト」といえば、隠岐島前高校の取り組みをご存知の方も多いのではないのでしょうか? 県内の高校のクラス数が減少傾向にある中、島前高校の平成24年度入学生は7年ぶりにクラス増となりました。この快挙の背景にあるのが、「島前高校魅力化プロジェクト」です。地元へ高校がなくなるときの影響を①本土の高校に行かせる経済的負担は4年間450万円②15~18歳人口の減少が地域の活力に低下につながるなど、負のスパイラルが続くと予測し、このような危機的状况に対して、高校と地域が一体となった新たな挑戦が始まりました。全国から意欲ある生徒を募集する「島留学」や地域連携型の公営塾「隠岐国学習センター」やグローバル人材を育成するカリキュラムや県外での広報活動。地域、行政、高校が一体になった地道な取り組みは、全国から多数の志願者

が集まる大きな成果に結びつきました。さて、横田高校の現状はどうでしょうか? 平成26年にクラス数が減少し、定員も3クラス120人になりました。少子化の影響は大きく、この傾向が続くと5年後には3クラス維持も難しくなります(平成30年度以降、町内の中学3年生の総数は90人代。地元入学率が現状の66%で推移すると、入学者数60人と予測)この問題と向き合っていくには高校はもろろんのこと、行政、保護者の方、地域の方も高校の取り巻く現状を温かくも厳しい目で見つめ、何ができるか考える必要があります。

横田高校の生徒はとても純粋で素直な生徒ばかりです。就職を目指す生徒から、大学、難関国立大を目指す生徒、ホッケーをはじめ部活動での活躍を誓う生徒など幅広い生徒がいます。そして、来年度から導入するコース選択制も、生徒ひとりひとりの進路を実現するための取り組みのひとつです。また、「奥出雲学」や「だんだんカンパニー」などは地域と連携したキャリア教育として地域内外からも高い評価を得ています。またPTA活動や稲穂会も非常に熱心で、地域の皆様の高校に対する期待も寄せて頂いています。横田高校に赴任した教員は「地域との距離がこんなに近い高校はないよね」と口にします。

生徒数確保はとても難しい課題です。特効薬や処方箋はありません。高校独自の取り組みや、地道な広報活動を継続的にしていくほかにないと思っています。来年度、横田高校のコーディネーターは2名に増員予定です。地域と連携したキャリア教育の充実と、ホームページのリニューアル、県外での高校説明会などにより一層力をいれていく所存です。引き続き、地域のみならず温かいご支援をよろしくお願い致します。

横田高校魅力化コーディネーター
本宮 理恵

横田高校魅力化プロジェクト

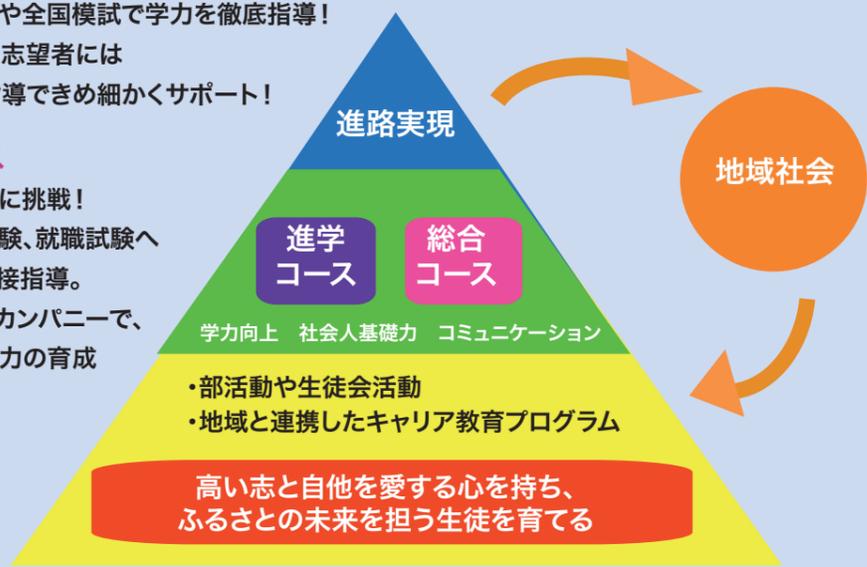
横田高校は平成23年度から「横田高校魅力化・活性化事業」に取り組み、地域と連携しながら、未来に向け持続可能な共生社会をつくるために「人づくり」の拠点となる学校づくりを行っています。

進学コース

- 平日補習や全国模試で学力を徹底指導!
- 難関大学志望者には個別添削指導できめ細かくサポート!

総合コース

- 資格取得に挑戦!
- 公務員試験、就職試験へ徹底した面接指導。
- だんだんカンパニーで、社会人基礎力の育成



●地域と連携したキャリア教育プログラム

積極的に校外にも学びのフィールドを広げています。「奥出雲学」「だんだんカンパニー」「キミチャレ」など、自身の生き方と社会とのつながりを考え、地域社会に貢献できる人づくりを目指しています。

●町と連携した取り組み

- 寮費の一部補助、JR+路線バスの1/3補助 (H26年度~) **NEW!**
- 県外からの生徒確保に向けて、東京、大阪での学校説明会
- 県外から来た生徒と交流する、地域ボランティアの整備 **NEW!**
- (詳しくは奥出雲町 広報4月号に掲載します。ボランティアを募集しています)
- 専属コーディネーターの配置
- 企業見学ツアーやインターンシップの受け入れ調整等



